

令和3年度 学長の業務執行状況の確認結果について

令和4年6月6日
国立大学法人滋賀医科大学
学長選考・監察会議

国立大学法人滋賀医科大学学長選考・監察会議規程第2条第1項第4号及び国立大学法人滋賀医科大学学長選考等実施細則第11条第1項の各規定に基づき、令和4年6月6日開催の国立大学法人滋賀医科大学学長選考・監察会議（令和4年度第1回）において、上本伸二学長から下記のとおり学長の業務執行状況を確認したので、公表する。

記

【確認概要】

- 日時：令和4年6月6日（月） 16時10分～17時20分
場所：大会議室（管理棟3階）
確認対象期間：令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）
確認方法：学長から業務執行状況の報告を受け、質疑・応答を行った。
確認事項：
1. 学長就任後の2年間の、特に2年度目の成果について
2. 第3期中期目標の達成状況及び重点的取り組み事項の成果について
3. 第4期中期目標に向けた課題と解決方針について
4. その他
- 確認資料：『学長業務執行状況報告（令和3年4月1日～令和4年3月31日）』
－別添1「第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書」
－別添2「定量的な指標を含む中期計画の達成状況一覧（第3期）」
－別添3「令和3年度監事監査結果報告」
－別添4「第4期中期目標・計画一覧」
－参考1「滋賀医科大学学長像」
－参考2「学長候補者所信表明書（上本伸二）」
－参考3「（第3期）中期目標・計画一覧」

【確認結果】

令和3年度における学長の業務執行状況は、「良好」である。
特に以下の点を高く評価する。

- 1) 開学50周年を見据えて、「サステナブルでアトラクティブな滋賀医科大学」をビジョンとして掲げ、本学の理念・使命の実現に向けてさまざまに心を砕いて施策を考え、実行している。
- 2) 医学部附属病院における専攻医のリクルートや、大学院医学系研究科修士課程看護学専攻の入学定員充足率の改善など、優秀な若手人材の確保について、着実に成果に結び付けている。
- 3) 「女性医師支援のためのスキルズアッププログラム」など、さまざまなライフイベントに直面する構成員への両立支援策を推進し、女性の活躍促進だけでなく、構

成員全体の教育・研究・診療活動の持続化に取り組んでいる。

- 4) 新たに創発的研究センターを設置し、若手人材の挑戦的研究の支援をはじめ、研究活動支援体制を整備するとともに、安定的な財源確保に向けて、外部資金の更なる獲得に努めている。
- 5) 老朽化が進む施設・設備に対して、学長がリーダーシップを発揮し、集中的な予算配分を行うことで、施設・設備の更新が大きく進んでいる。
- 6) コロナ禍に適合した教育・研究・診療活動を実践するとともに、開学50周年記念事業や医学部附属病院の機能強化など、将来を見据えた取組を着実に実行している。

なお、令和4年度以降への要望事項として、以下の点を挙げる。

- 1) 学長が掲げるビジョンや第4期中期目標・中期計画の実現に向けて、引き続き構成員への情報発信や対話を積極的に行い、各種の施策に取り組まれることを望む。
- 2) 令和6年4月1日から施行される医師の働き方改革に対する取組みを進め、より良い職場環境の下で優秀な人材を安定的に確保し、引き続き社会に貢献されることを望む。
- 3) ハラスメントのない職場・学びの場の環境向上を目指して、相談・対応体制の拡充や教育・啓発活動の深化に取り組まれることを望む。

以上